

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

| | | | | |
|--|---|-------------|-----------------|------|
| 企業名 | 三共テック株式会社 | | | |
| 所在地 | 東京都大田区矢口二丁目 28 番 9 号矢口フラワーマンション 201 号室 | | | |
| 業種 | 建設業 | | | |
| 常用労働者数 | 5人 | | | |
| 事業内容 | 電気工事業 | | | |
| ホームページ | http://sankyotech.co.jp/index.html | | | |
| 1 ニーズ調査 | | | | |
| ①実施日 | 令和 2年 9月 18日 | | | |
| ②方法 | 調査票を都内に勤務する全ての従業員に配布 | | | |
| ③回収率 | 対象者（都内全従業員） 5名のうち回収数 5名 回収率 100%（回収数/対象者） | | | |
| ④調査結果概要 | <p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 介護を経験した従業員および介護対象者はいない。 現在、介護に関わっていないが、将来に備え定期的な情報周知が必要である。 今後の従業員の介護見込みについて 今後は、介護に関わる従業員がほとんどである見込みのため、定期的な情報提供や社内制度の周知、状況把握が必要である。 就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 制度の内容がわからない従業員が多いため、認知状況は低い。 将来、介護に関わる可能性や突然の事態に備え、定期的に社内制度を周知し、認知を高める必要がある。 介護と仕事の両立に関する不安について 不安を感じる従業員がほとんどである。介護経験がない分、不安が大きく介護しながらの勤務もできるかわからないと考える従業員が多い。 不安を軽減するため、定期的な個人面談の実施、介護情報および社内制度の周知が大切である。 介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 介護休業や短時間勤務を利用し、介護と仕事の両立を望む声が多い。 従業員一人ひとりの声を聞き、柔軟な働き方の検討が両立に繋がると考える。 | | | |
| 2 プロジェクトチームの設置及び運営状況 | | | | |
| ①設置日 | 令和 2年 10月 2日 | | | |
| ②メンバー | 総計 3名（うち都内勤務の従業員 2名） （メンバー内訳） 社長、総務、電気工事 | | | |
| ③運営状況 | 開催日 | 開催時間 | 検討内容 | 参加者数 |
| | 10月 2日 | 16:40~17:40 | 活動内容およびスケジュール確認 | 3名 |
| | 10月13日 | 16:45~17:45 | 調査結果概要説明、取組案の提示 | 3名 |
| | 10月27日 | 16:45~17:45 | 取組案について意見交換、確定 | 3名 |
| 3 策定した取組計画（内容及び取組時期） | | | | |
| 令和 2年11月～ 定期的な個人面談を実施し、状況を把握する（年1回程度） | | | | |
| 令和 3年 5月～ 仕事と介護の両立に関する社内研修の実施（年1回程度） | | | | |
| 令和 3年12月～ 公的介護保険制度や地域包括支援センターの情報を周知する（年1回程度） | | | | |

